

自2021年4月 1日
至2022年3月31日

公益財団法人ハーモニィセンター

2021年度

事業計画書

公益財団法人ハーモニィセンター
〒151-0052東京都渋谷区代々木神園町3-1
国立オリンピック記念青少年総合センター内
電話03-3469-7691
FAX03-3469-7714

目 次

—はしがき—	… 2
1 ポニーキャンプ®、ポニークラブ®、動物広場、牧場等の運営	… 3
1-1 ポニーキャンプ®・野外体験キャンプ	… 3
1-2 HAC（ハーモニアクティブチャレンジ）	… 3
1-3 移動動物教室	… 3
1-4 蓼科ポニー牧場・ポニークラブ®	… 3
1-5 相馬ポニー牧場・ポニークラブ®	… 4
1-6 小貝川三次元プロジェクト	… 4
2 ポニーキャンプ®、ポニークラブ®、動物広場、牧場等の受託管理	… 5
2-1 碑文谷公園こども動物広場	… 6
2-2 水元スポーツセンター公園子供動物広場	… 7
2-3 相模原麻溝公園ふれあい動物広場	… 8
2-4 板橋こども動物園	… 8
2-5 上千葉砂原公園ふれあい動物広場	… 9
3 教育、福祉、医療等の現場におけるポニー乗馬の普及	…10
4 川べり環境の整備及び活用の推進並びに社会教育に必要な指導者の養成	…10
5 国際文化交流、国際相互交流活動の推進	…11
6 社会教育に関する調査研究の推進及び研究成果の普及	…11
7 新聞、雑誌、図書等の刊行及び電子媒体による情報発信	…11
8 その他	…12

はしがき

○ 新しい活動様式

昨年来、世界的に猛威を振るっている新型コロナウイルスは、令和3年3月時点で収束の目処が立っていない。個人に求められている「新しい生活様式」同様、活動の対象となる会員、利用者、参加者に寄り添い、その心と密に関わる事が求められるハーモニイセンターや、体験活動を提供している多くの団体に「新しい活動様式」に向けて模索することが求められることとなった。

この新しい活動様式については、昨年自主事業（キャンプ、牧場）、動物広場毎に設けたガイドラインにより、国や関連自治体の方針に沿うことを基本として引き続き事業を進めてゆく。キャンプや移動乗馬教室については、緊急事態宣言の発出、解除、依頼者（移動乗馬）の意向に左右されながらの可能な範囲での実施ということで、令和3年度についても経済的には多くを期待することが難しいが、一部事業を縮小しながらも運営できている動物広場の委託費、指定管理費により、持ちこたえることができる見通しではある。コロナ禍が各自自治体の財政を逼迫させている状況から、決して楽観はできないが、その一方で、屋外での思い切り体を動かしての体験活動の場、人と人との血の通った関わりの場が、このコロナ禍にあってこれまで以上に求められていることに加え、馬の世界からは親しみやすく安全な馬と、ホスピタリティーに富んだカウンセラー、スタッフが作り出す明るい世界に対する期待が感じられ、動物園を持つ地方自治体からは賑わいを取り戻すための相談が舞い込んできていることから新たな展開への予感が感じられる。

○ 攻守バランスよく

既存の事業を粛々と進めつつも、今しばらく「コロナ明け後」に子供達の“待ちに待った活動再開”のスタートダッシュをするために、外部からの様々な要請に応えるために、各資源充実の準備を進める時期は続く。

人：職員のトレーニングが最重要課題となっている。多様な利用者、参加者に対応する技術、知識の習得はもちろん、いかにして社会的課題の解決に貢献するかを繰り返し考える場を設ける。また、コロナ禍によって活動機会がほとんどなくなってしまったカウンセラーをつなぐためにもオンラインへの取り組みも含め、積極的に活動機会を設ける。

施設・動物：昨年、永年の夢であった蓼科の厩舎新築に加え、板橋こども動物園も昨年リニューアルオープンとなったが、その他多くの施設は老朽化が進んでおり、利用者、職員共々安全で快適に過ごせるよう、早期の計画的修繕を進める。同様にポニーを初めとする動物についても老齢化が進んでおり、一部事業に支障を来しかねない状態であり、種類によっては入手が困難になってきていることからこれまで以上に入れ替え、補充に力を入れてゆく。

渉外：前述の蓼科厩舎新築、クラウドファンディングは、従来の助成金取得とは違う形での資金調達の可能性を感じさせる。他団体・法人・グループに呼びかけ、課題や願いを共有し、新たな事業につなげてゆく。

1 ポニーキャンプ®、ポニークラブ®、動物広場、牧場等の運営

1-1 ポニーキャンプ・野外体験キャンプ

昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けることが予想される。団体内のガイドラインに基づき、緊急事態宣言が出された場合は催行を見送る、緊急事態宣言下ではない場合でも感染状況により定員を調整するなど、適宜対策をした上で柔軟な対応をしながら催行する。いずれにしても影響は大きく、大幅な参加者数の減少は免れず、体験の減った子供達へ体験を届ける場の減少が危惧される。できる限り多くのキャンプを実施できるように計画していく。

【年間の代々木事業所主催キャンプ】

	実施回数	延べ泊数	参加数	
			子供	大人
長期	23回	73泊	650名	0名
短期	13回	18泊	200名	100名
計	36回	91泊	850名	100名

1-2 HAC（ハーモニアクティブチャレンジ）

新型コロナウイルス感染症の影響からキャンプ事業の実施が難しいと判断された場合や、保護者の方々が宿泊に対して抵抗があることが想定された場合など積極的に日帰り・少人数の事業を計画する事で子供達の体験の場を確保していきたい。キャンプの催行判断に対応しながら柔軟に事業を実施してゆく。

1-3 移動動物教室

新型コロナウイルス感染症の影響から移動動物教室の依頼も大幅な減少が予想される。これまでにある繋がりを大切に、感染対策をした上でストレスを溜めた子供達の活動として訪問することも視野にいれていく。また昨年度実施したクラウドファンディングの寄付金を使い、東京都内の障害児者の施設の訪問活動を実施していく。

1-4 蓼科ポニー牧場・ポニークラブ

【事業内容】

- ① ポニー乗馬
レッスン（5歳以上）・障害者乗馬レッスン・引馬（1人乗り・2人乗り）。
- ② 小動物とのふれあい
実施なし。
- ③ 展示動物飼育管理

実施なし。

- ④ ポニー教室（個人・団体）
月2回実施（TJPC）。
- ⑤ 動物クラブ
実施なし。
- ⑥ 障害児乗馬教室
馬の学校（白樺 YH）。
- ⑦ 各種イベントの開催
ポニーライダーズカップ・OB/OG会（年3回）・牧場フェスティバル。
- ⑧ 移動動物教室
AKS 乗馬会・妙高国立青年の家・お台場 NRT・日野新選組。
- ⑨ 幼稚園・保育園・学校等の団体の受け入れ
自由学園体験旅行。
- ⑩ 馬車の運行
実施なし
- ⑪ その他
ポニーキャンプ・スタッフ研修・乗用馬生産育成・預託馬受入れ・カウンセラー研修。

【現在の課題+2021年度、力を入れて取り組みたい事】

ひだまりファーム（不登校児受入れ、居場所づくり）

【今後3～5年かけて実現したいこと】

2021年度より任意団体「ぽこあぽっこ」の認可外保育を牧場にて受け入れ、認可保育を目指し、保育事業への足掛かりとする。

1-5 相馬ポニー牧場・ポニークラブ

引続き、南相馬市の要請に応じ地域の除染土仮置き場、倉庫として活用していく。

東京電力への賠償請求については、原子力損害賠償紛争解決センターによる和解仲介（ADR）申し立てを進め、今年度内にはADRの方向性を出し、次年度から解体計画の準備をする。

1-6 小貝川三次元プロジェクト

【事業内容】

- ① ポニー乗馬
レッスン・障害者乗馬レッスン・引馬・外乗は、昨年度の新型コロナウイルスによる、緊急事態宣言の発出を受けて利用者が激減した。再度、ご利用いただけるように、働きかけを行う。
- ② 小動物とのふれあい
実施なし
- ③ 展示動物飼育管理
実施なし
- ④ ポニー教室（個人・団体）
参加申込者数が増えているため、安全に教室を実施できるよう、日曜日・祝日に加え、土曜日の実施を検討する。（小学生～中学生まで）
・WAC（市内・高齢者団体）月2回土曜日に実施。
- ⑤ 動物クラブ
実施ナシ

- ⑥ 障害児・者乗馬教室
- ⑦ 各種イベントの開催
 フラワーカナル・小貝川Eボート大会・河内町河川騎馬パトロールなどは昨年度新型コロナウイルスの影響で実施を見送ったイベントの内容を精査した上で実施したい。
- ⑧ 移動動物教室
 11ヶ所、出張を伴うプログラムが新型コロナウイルスの影響で実施を見送った事業について、今年度は内容を精査した上で実施したい。
- ⑨ 幼稚園・保育園・学校等の団体の受け入れ
- ⑩ 馬車の運行
 ミニチュアホース用の馬車の修復が完了したため、運行ができるように調教を進める。
- ⑪ その他
 カヤック教室・ライフジャケットなどの資機材貸し出し業務・ひとり親家庭乗馬会・カウンセラー研修・生き生きクラブ研修室貸し出し業務・青葉台中初等部飼育馬管理・流通経済大学連携プロジェクトなど、昨年新型コロナウイルスの影響を受けた事業について、正常化を目指して働きかける。
 タンデムカヤックを購入し、障害を持った方や親子での利用に備える。

【現在の課題+2021年度、力を入れて取り組みたい事】

昨年、一般家庭へミニチュアホースを販売し、その後も管理を支援している経験を生かし、馬事普及に一役買うため、新たなミニチュアホースを配置・調教し、販売を目指す。団体全体の馬の高齢化が進んでいる現状に対し、新馬購入先の開拓、購入、調教を経て動物広場への配置ルート整備に貢献する。また、老齢馬搬出先の開拓・流通経済大学（龍ヶ崎市）を初めとした地域団体との連携拡充に務める。

【今後3～5年かけて実現したいこと】

馬場・馬房の補修、放牧場の柵へのペンキ塗り改修工事・三次元プロジェクト空部門の開発と定着。

2 ポニーキャンプ®、ポニークラブ®、動物広場、牧場等の受託管理

利用者に心地よい空間を提供するため、清潔を心がけ、安全安心で魅力のある事業所運営を行う。2021年度は以下の点に力を入れる。

- ① 事業所内の整理、整頓を実行し、少ない費用で最大の効果を狙う。
- ② プログラムの標準化、質の向上を目指す。
- ③ 各種情報発信の基地
- ④ 人材育成の場と位置づける。

【施設概要一覧】

	契約先 (所管課)	面積等	飼育動物	職員 数
碑文谷	目黒区都市整備部 道路公園課	3,310 m ²	ポニー6頭・ウサギ・モルモット・犬・亀	6名
水元	葛飾区教育委員会 地域教育課	3,263 m ²	ポニー13頭	10名
相模原	相模原市 環境共生部 公園課	15,000 m ²	ポニー15頭・ヤギ・ヒツジ・モルモット・ウシ・ブタ・リスザル・シマリス・ミーアキャット・ハイラックス・シカ・ウサギ・鳥類(クジャク・チャボ・オシドリ等)等	16名
板橋 2園	板橋区土木部 みどりと公園課	本園 1,907 m ² 高島平分園 583 m ²	ポニー9頭・ウサギ・モルモット・ヤギ・シカ・ヒツジ・カメ・インコ・リス等	13名
上千葉	葛飾区都市整備部 公園課	2,100 m ²	ポニー5頭・ヤギ・ミニブタ・ウサギ・シマリス・リスザル・鳥類(クジャク・オシドリ・烏骨鶏)等	6名

【各施設事業内容等】

2-1 碑文谷公園こども動物広場(ポニー園)

【事業内容】

- ① ポニー乗馬(引馬)
- ② 小動物とのふれあい
- ③ ポニー教室(小中学生向け)
- ④ ポニー教室(障害児グループ・一般グループ・幼稚園・保育園・学校等の団体向け)
- ⑤ 動物クラブ
- ⑥ その他(大学生研修受け入れなど)

【現在の課題+2021年度、力を入れて取り組みたい事】

- ・ 施設の修繕や整理整頓
施設老朽化にともない、昨年度に引き続き、修繕や整理整頓、看板などの更新を行う。
- ・ 職員の育成
日常業務を軸に、自主事業や他事業所との関わりも大切に、次の3点を行う。
 - ① 団体の基本理念に基づいた考え方、団体の動物広場原点としての意識を育む。
 - ② 経験を重ねる。
 - ③ 乗馬技術などの向上を目指す。
- ・ 地域団体との関係性強化
- ・ 動物クラブの再開
新型コロナウイルス感染症対策を講じた、動物クラブの再開を目指す。
- ・ 各プログラム利用方法の利便性向上
新型コロナウイルス感染症対策を講じた各プログラムの利用方法が、利用者・参加者にとってより便利になるよう、工夫する。

【今後 3～5 年かけて実現したいこと】

- ・ イベントの実施
新型コロナウイルス感染症により実施できていない、ポニーまつりや蓼科ポニーキャンプなどの実施を目指す。

2-2 水元スポーツセンター公園子供動物広場（ポニースクールかつしか）

【事業内容】

- ① ポニー乗馬（引馬）
馬場内での無料引馬。3 歳以上小学校 6 年生までが対象。
- ② 小動物とのふれあい
実施無し。
- ③ 展示動物飼育管理
実施無し。
- ④ ポニー教室
個人：葛飾区在住・在学の小学生～中学生を対象に実施。
団体：中学生以下の団体（区外の団体可）。
- ⑤ 動物クラブ
実施無し。
- ⑥ 障害児乗馬教室
パートナーアニマル個人教室：葛飾区在住・在学・在勤の小学生から 20 歳までを対象に実施。
パートナーアニマル団体教室：中学生以下の団体（区外可。中学生以上の新規受付は行わない）を対象に実施。
- ⑦ 各種イベントの開催
「区民感謝乗馬デー」年に 2 回開催。
教室会員を対象に、「こどもまつり」や「クリスマスホースショー」、「マラソン大会」等を開催。
- ⑧ 移動動物教室
4 月に「葛飾区子供まつり」、10 月に「かつしかスポーツフェスティバル」に参加、引馬と軽乗見本演技披露を実施する。
- ⑨ 幼稚園・保育園・学校等の団体の受け入れ
④と⑥の「団体対応」にて対応する。
- ⑩ その他
介護予防乗馬：年間 3 回、65 才以上を対象とした高齢者乗馬を実施する。

【現在の課題+2021 年度、力を入れて取り組みたい事】

- ・ 新型感染症の収束が見えない中、利用人数の制限を行う。学校や部活動なども制限され、子供達の体力が低下している中で安心・安全なプログラムを行い、子供達の居場所作りにも寄与していく。
- ・ 若手職員が多いので、社会人として、ハーモニー職員としての「基本」を軸に安全に業務を遂行していく。また、団体内外問わず積極的に外に出て行き、知識・スキルを身につけてもらう。
- ・ 地域貢献等を通じて、ポニースクールかつしかへの理解、認知度を高める。

【今後 3～5 年かけて実現したいこと】

- ・ 職員や馬の育成をする場としての役割を積極的に担う。

- ・ 「軽乗」ブランドの確立：団体内での理解、協力→対外的に第一人者としての地位を確立する。

2-3 相模原麻溝公園ふれあい動物広場

【事業内容】

- ① ポニー乗馬（引馬）
- ② 小動物とのふれあい
- ③ 展示動物飼育管理
- ④ ポニー教室
- ⑤ 動物クラブ
- ⑥ 障害児乗馬教室
- ⑦ 各種イベントの開催
- ⑧ 移動動物教室
- ⑨ 幼稚園・保育園・学校等の団体の受け入れ
- ⑩ その他

【現在の課題+2021年度、力を入れて取り組みたい事】

感染症に伴い、例年通りにプログラムを行うことが困難となって来ている。

このような状況でも、より多くの利用者の方に満足して頂くための工夫を重ね、SNSやブログを活用して新規利用者獲得に努める。

【今後3~5年かけて実現したいこと】

飼育動物の高齢化、施設の老朽化が進んで来ているため、より良い憩いの場にすべく、施設の修繕を行い、長く愛されるように、動物の補充・入換えを行う。

2-4板橋こども動物園(本園・分園)

【事業内容】

- ① ヤギ・ヒツジの放し飼い、ふれあい
- ② ヤギの屋根のぼり、橋渡り
- ③ モルモットのふれあい
- ④ ポニー乗馬 引馬、親子乗馬、高齢者乗馬、障害者乗馬
- ⑤ ヤギ・ヒツジのえさやり
- ⑥ ポニーの馬車
- ⑦ こども動物クラブ
- ⑧ ポニー教室、親子ポニー教室
- ⑨ ポニーキャンプ
- ⑩ 出張動物園、ふれあい
- ⑪ 施設や企業との協働企画
- ⑫ 軽食やお土産の販売
- ⑬ 公園清掃、樹木管理
- ⑭ 団体受け入れ 幼稚園・保育園・学校等の団体の受け入れ
- ⑮ イベント開催
冬のミニイベント、ヒツジの毛刈り

【現在の課題+2021年度、力を入れて取り組みたい事】

- ① 施設の改善。来園者が使いやすい、わかりやすい施設を目指す。
 - ・使用方法、注意喚起の看板制作。イベントなどの宣伝。
 - ・リスクマネジメントの観点から施設の改善を図る。
 - ・扉、鍵などの工夫、改善する。
 - ・コロナ禍での感染予防対策の徹底。随時見直し。
- ② 職員のスキルアップ
 - ・担当部署を問題なく任せられるようにする。
 - ・外部折衝を体験する。
 - ・乗馬技術の向上。
 - ・団体理念の理解。
- ③ 近隣の産官学民との協働の強化
 - ・お互いの特色を活かしたイベントの共同開催。
 - ・公園活用の誘致。
 - ・子育て中のママの憩いの場所→ママ友づくり、友達づくりの場として活用。
(親子ポニー教室での交流も含め)
- ④ 障害者施設、高齢者施設への働きかけ
 - ・出張ふれあいの実施。
 - ・団体の受け入れ。
 - ・学校での活用→支援級の子供達の利用促進。

【今後3～5年かけて実現したいこと】

- ① 区民ボランティアの確保。(子供が参加できるワークショップの開催・遊び系)
- ② 公園のプレイパークイベントの定着。
- ③ 区内産官学民とのイベントの定着。
- ④ 動物クラブ、ポニー教室の参加者をキャンプへ送り出す。
- ⑤ 動物広場との繋がりだけでなく、ハーモニーセンターの活動にも参加、協力してくれる人を増やす。

2-5 上千葉砂原公園ふれあい動物広場

【事業内容】

- ① ポニー乗馬(引馬)
- ② 小動物とのふれあい
- ③ 展示動物飼育管理
- ④ ポニー教室年3回(1回につき5日間)
- ⑤ 動物クラブ(6月から翌年3月まで)
- ⑥ 各種イベントの開催
- ⑦ 移動動物教室(高齢者施設や盲学校など)
- ⑧ 幼稚園・保育園・学校等の団体の受け入れ
- ⑨ 中学生職業体験の受け入れ
- ⑩ その他

【今後3～5年かけて実現したいこと】

- ・前年度コロナの影響で開催できなかったミニイベントを、感染症対策に万全を期し開催する。
- ・動物クラブやポニー教室の運営方法を工夫し活動人数を増やす。

- ・全面改築に向けた計画の作成や意見を求められた際の対応などに職員全員で取り組む。
- ・地域の学校やスーパーと協力し、野菜や草花の安定した供給を行なっていく。

3 教育、福祉、医療等の現場におけるポニー乗馬の普及

3-1 伊那市立伊奈小学校他へのポニーステイ体験活動

2019年12月より伊那小学校（長野県）へのポニー無償貸出。1年時より3年時まで総合学習におけるポニーの活用。学校にポニーを置くことの検証を始めると共に、他に希望があれば積極的に対応する。

3-2 茅野市・南魚沼市・相模原市・板橋区 移動乗馬教室

昨年度に続き、新潟県南魚沼市・長野県茅野市の小学校・養護学校等を6頭のポニーと15名のスタッフ・カウンセラーで訪問し、乗馬体験やふれあい体験を実施する。また、今年度は相模原市・板橋区でも事業を実施し、より広い範囲での普及活動を実施する。本事業は公益社団法人全国乗馬倶楽部振興協会の助成金を受け実施する。日程に関しては現在調整中。

3-3 その他の体験活動

都内小学校で1～4校時を利用し、PTAとおやじの会が主体となって、2、4、6年生に対し動物とふれあう体験活動を実施する。

4 川べり環境の整備及び活用の推進並びに社会教育に必要な指導者の養成

平成30年度に国土交通省関東地方整備局利根川河川事務所によって河川協力団体に認定された際に策定した5年間の活動実施計画に基づいた活動の任期が終了した。2021年度も小貝川ポニー牧場を中心として河川に賑わいを取り戻し、環境点検・保全・清掃・事故防止・災害時に貢献するべく、事業計画を策定する。

【事業内容】

- ① 騎馬による河川パトロール活動（年数回、危険箇所等のチェック、ごみ拾い）
- ② 移動乗馬教室開設（河川敷、各種教育福祉施設広場など）
- ③ 河川流域関連イベント参加
- ④ 河川流域関連学習、研究会の開催
- ⑤ 河川敷の除草
- ⑥ NPO 小貝川プロジェクト 21 と協力し、ウェルネスフェスティバルにて E ボート大会の企画・運営

5 国際文化交流、国際相互交流活動の推進

5-1 モンゴル大草原乗馬交流

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、休止。一昨年実施したモンゴル文化教育大学との乗馬交流を基に、更なるプログラムの充実を目指す。

5-2 日独青少年相互交流計画

日本とドイツの青少年がお互いの国を行き来し、異文化交流を通して学びあい、国際的視野を広げる機会とする。隔年で派遣と受け入れを交互に行っている。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で渡航自体は実施しないが、30周年事業をオンラインで実施すると共にオンラインでの継続的な交流を進めていく。

6 社会教育に関する調査研究の推進及び研究成果の普及

公益社団法人全国乗馬倶楽部振興協会、JRA、ゆるやかネット、その他のグループが乗馬の効用、馬の活用状況に関連して実施する研究集会、調査、交流会等に積極的に参加・協力し、当会が蓄積してきたノウハウ、成果等を積極的に発信すると共に、参加職員の研修、情報収集にも努める。

2020年度には「馬を用いたセラピー・療育研究プロジェクト」の研究事業に参画し、小貝川ポニー牧場において「障害者に対する馬介在療法・療育の身体的、精神的機能の変化に関する研究」のデータ提供を行った。2021年度は本事業の研究結果が発表される予定であるが、当会に施設運営を委託している自治体の中でも成果発表に期待が寄せられている。

7 新聞、雑誌、図書等の刊行及び電子媒体による情報発信

7-1 機関紙「THE HARMONY CENTER」の発行

ハーモニセンターに連なる多彩な会員・関係者に取材することにより、キャンプ中心ではなく、大人も楽しめる読み物として質の高い情報発信に努める。今年度はオンラインによる対談等も積極的に行い、紙面の充実を図っていく。

- ① 発行ペース：月刊
- ② 掲載内容：ハーモニセンターの行う「社会教育活動」の紹介
- ③ 発行部数：各号2,000部
- ④ 設置場所：公的機関（役所・公立図書館）

※これ以外にも設置できる場所を探す。

7-2 WEBによる広報活動

より見やすいHPが出来るよう随時、改良を行っていく。

また、SNS（Instagram/Twitter/Facebook）なども積極的に活用して広報活動の充実を図る。

7-3 パンフレット・チラシの活用

インターネット環境のみに頼ることなく、今年度も紙媒体を充実させ、「全職員広報マン」の意識を持って牧場、動物広場への利用者誘導に努める。

8 その他

8-1 人材育成

8-1-1 職員

人事・採用・研修委員会が、年間通じた階層・年齢層・テーマに合わせた研修プランを作成し、実施する。

また外部のシンポジウム、セミナー、研修会に積極的に職員を出席・参加させる。

8-1-2 ポニーキャンプカウンセラー研修

子供トレーニングキャンプを中心とした、ハーモニィセンターが主催する全ての事業に参加する青少年を対象とし、活動を通じてハーモニィセンターの活動趣旨を理解・体感・賛同し、技術を体得する事で自信を持って積極的に活動を推進する一員となることを目的とする。

① 宿泊研修会

	研修会名称	実施期間	会場	参加数
1	新人牧場研修会	6月4日～6日	蓼科ポニー牧場	10名
2	登山研修会	6月18日～20日	八ヶ岳	10名
3	新人牧場研修会	6月18日～20日	蓼科ポニー牧場	10名
4	牧場研修会	11月26日～28日	蓼科ポニー牧場	10名
5	牧場研修会	12月12日	蓼科ポニー牧場	10名
6	スキー研修会	1月27日～30日	六日町スキー場	8名
7	牧場研修会	1月27日～30日	蓼科ポニー牧場	10名
8	牧場研修会	2月22日～25日	蓼科ポニー牧場	10名
	計 8回	延べ17泊		78名

* 8はハーモニィカレッジとの合同研修会。

② 日帰り研修会

各種技術（ギター、レクリエーション、プログラム作り、ポニーの扱い、野外炊事技能等の自然体験活動、安全管理等）の習得及びカウンセラー同士の相互理解を目的とする。（会場は国立青少年センター、動物広場など）

8-2 他団体との連携等

8-2-1 役員等派遣

公益社団法人全国乗馬倶楽部振興協会、NPO法人自然体験活動推進協議会、NPO法人日本Gボール協会、一般財団法人日本ユースホステル協会、一般財団法人陽だまりハーモニー、ゆるやかネットワークに役員等を派遣する。

また、馬の調教や乗馬指導に関する指導を依頼される団体、機関に指導者を派遣する。

8-2-2 運営協力

「馬のいる領域」研究集会、公益社団法人日本キャンプ協会、大都市圏動物園事務主管者会議、河川流域交流会、馬を用いたセラピー・療育研究プロジェクト、一般財団法人日本ユースホステル協会（馬の楽校）・ひとり親家庭の運営に協力・参加する。

8-2-3 馬預託

TCCを初めとして依頼のあった、馬・ポニーを預かり、管理・調教を行う。

8-3 団体運営体制整備

引き続き各種規程の見直し・整備を進めると共に、職員の待遇改善を図り、将来への不安を感じることなく、夢を持って日々の業務に取り掛かれる環境を作る。

委員会

① 人事・評価・研修委員会

現在の採用委員会を拡大し、評価制度の運用、研修の企画実施まで手がける。
馬の指導における内部審査制度を確立する。

② 危機管理委員会

各事業所の安全管理マニュアル2021年度版を作成し、各事業所、全職員で共有する。

各事業所場長で構成し、施設長会議で情報交換、課題の解決を図る。

ヒヤリハットの収集、個人情報保護に務める。

③ ハーモニーセンター60周年委員会

ハーモニーセンターの60周年事業の実施を計画する。これまでの歴史を振り返り・今後の目標や夢をお披露目する会として会員や関係者に盛大にアピールする場に。

オンライン・オフラインどちらにするかは情勢によって決定する。